

平成20年度道路空間の利活用に関する社会実験の実施地域に
東北地方で2地域（青森市、盛岡市）が選定されました

国土交通省では、道路空間の利活用に関する社会実験について、実施地域を公募しておりましたが、この度、全国で17地域、うち東北で下記の2地域が選定されましたのでお知らせします。

【選定地域】

実施地域	実験名称	申請主体
青森県青森市	ITを活用した効率的・効果的な除排雪に関する社会実験	あおもりITS推進研究会
岩手県盛岡市	盛岡市内「減クルマ」交通転換の冬期環境向上実験	”減クルマ”でまちづくり実行委員会

○社会実験は、既存制度の大幅な見直しを伴う、先進的かつ斬新な道路に関する施策について、当該施策を本格実施に移行するにあたり、事前に効果や影響を確認するため、場所と期間を限定して試行・評価するものです。

○平成20年度に社会実験を実施する地域を公募（公募期間：平成20年8月25日～9月19日）したところ、全国26地域から応募がありました。これらの案件について、学識経験者等からなる「社会実験の推進に関する懇談会（座長：高橋洋二日本大学教授）」に諮り、全国17地域が選定されました。

○全国17地域のうち、東北では2地域が選定されたものです。（実験概要は別紙のとおり）

※国土交通本省でも同時発表しております。

(<http://www.mlit.go.jp/>)

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先 国土交通省東北地方整備局 TEL 022-225-2171 (代表)
道路部 道路計画第二課 課長 高橋重道 (内4251)
課長補佐 亀井督悦 (内4252)

【実験概要】

実施地域	実験名称	申請主体
青森県青森市	ITを活用した効率的・効果的な除排雪に関する社会実験	あおもりITS推進研究会
<p>[地域の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森市は全国で唯一の特別豪雪地帯に指定された県庁所在都市である。 ・青森市民意識調査では、「雪対策」についての重要度が83.6%と非常に高いにもかかわらず「満足度」は14.6%と低水準であり、早急な改善が求められている。 <p>[実験の概要] 実験期間：平成21年1月頃から2ヶ月間程度の予定</p> <p>① <u>市民サポーターからの情報収集実験</u> 雪みちに関する情報収集体制を強化するため、市民サポーター制度（仮称）の設置により、GPS機能付き携帯電話を使用した、市民協働の雪みち情報の収集体制を確立する。</p> <p>② <u>道路管理者間等の情報の共有による除排雪の効率化実験</u> 効率的な除排雪に向け、国県市で除排雪車の位置情報の共有を図り、より効率的な除排雪体制の構築を検討・実施する。</p> <p>③ <u>一元化した除排雪情報の提供実験</u> 市民への情報提供内容及び方策の充実として、除排雪に関する情報を国県市で一元化し、さらに、NPOと協働によりライブカメラ画像と除排雪に関する一元化した情報提供を実施する。</p>		

実施地域	実験名称	申請主体
岩手県盛岡市	盛岡市内「減クルマ」交通転換の冬期環境向上実験	”減クルマ”でまちづくり実行委員会
<p>[地域の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市は自転車交通が多く、それを背景として自転車関連の交通施策や民間の取り組みが活発であるが、その一方で、自転車に関連する事故の増加が懸念され、冬期間も含めた自転車走行の安全確保対策が求められている。 ・また、冬期間の自転車から自動車への転換も多く、市街部での交通渋滞が増大する傾向にあることから、公共交通の利用促進等を行う必要がある。 <p>[実験の概要] 実験期間：平成20年12月頃から3ヶ月間程度の予定</p> <p>① <u>市民参加による自転車走行危険箇所の点検・周知・対策実験</u> 冬期も含めた自転車走行環境の改善を図るため、アンケートやワークショップ開催等により、自転車走行における危険箇所を抽出し周知活動を行うとともに、危険箇所について、路面を活用した警告標示やその他簡易対策等を実施する。</p> <p>② <u>冬でも安心「バス停・街角の雪かきスコップ」設置実験</u> 冬期の歩行者・自転車走行環境の向上、バス利用環境の向上を図るため、バス停・街角（沿道の民地含む）にスコップ等を設置し、利用者や地域住民による除雪支援の実験を行う。</p> <p>③ <u>公共交通利用促進による渋滞緩和効果把握実験</u> 冬期における市街部等での渋滞緩和を目的に、バス空白域でのバス運行等に対する利用促進活動を行い、それによる自動車からの交通転換の状況や渋滞緩和に関する効果把握を行う。</p> <p>④ <u>「減クルマ」チャレンジウィークによる渋滞緩和効果把握実験</u> ノーマイカー運動を展開し、それによる自動車からの交通転換の状況や渋滞緩和に関する効果把握を行う。</p>		